

西南学院ビジョン2026-2037と 中期計画2026-2029について

学校法人西南学院の建学の精神である“Seinan, Be True to Christ”（西南よ、キリストに忠実なれ）と建学の精神に基づく西南学院の使命を実現するために、本学院が設置する各学校・園・保育所の教育・保育の目的の達成に向けたビジョンを策定しました。

建学の精神と西南学院の使命を踏まえた「ビジョン」、ビジョンの実現に向けた1期4年の「中期計画」、そして、中期計画を具体化した「単年度事業計画」を連動させることにより、建学の精神から現場業務まで繋がる一貫性を確保するように努めています。

◆建学の精神

“Seinan, Be True to Christ”

西南よ、キリストに忠実なれ

西南学院は1916(大正5)年、米国南部バプテスト派の宣教師C. K. ドージャーによって創立されました。福岡市初の男子の私立中学校として、当初104人の生徒と9人の教職員でスタートした「私立西南学院」は、1921(大正10)年に大学の前身である高等学部を開設し、学院発展の基礎を築きました。

創立者の遺訓“Seinan, Be True to Christ”（西南よ、キリストに忠実なれ）は、建学の精神として受け継がれ、現在もキリスト教を基盤とした独自の教育を実践しながら、キリスト教的人間観、世界観に立ち、奉仕の精神をもって社会に貢献する人を送り続けています。

◆西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人を育てることを使命とする。



創立者
C.K.ドージャー
(1879-1933)

